烟山朝马高校周忽全 第月 〇

第23号 2016年10月10日発行











①短艇部 校内レース後の記念写真 ②バレーボール部 三校戦にて奮闘中 ③演劇部 演劇発表会「女学者の群れ」 ④書道部 朝日祭開会式席上揮毫 ⑤弓道部 完成した弓道場での初射会 昭和 3年(1928) 昭和45年(1970) 昭和26年(1951) 平成27年(2015) 昭和30年(1955)

ごあいさつ



同窓会理事長 髙祖日出夫

会員の皆様には、本同窓会の活動に ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上 げます。歴史と伝統のある本校は部活 動も活発です。

部活と私のかかわりは、昭和25年 4月に「岡山朝日」の新1年生として 野球部に入部したところから始まりま す。烏城校舎のグラウンドが手狭なこ ともあり、野球部の練習に旧六高(現 校舎)を使用したことや、上級生の努 力もあって7月に行われた第32回全 国大会岡山県予選で優勝。しかし倉吉 で開催された東中国大会では惜しくも 敗れ、甲子園出場を逃しました。8月 の夏休みは、1時間繰り上げのサマー タイムが実施されていたので炎天下の 猛練習の効果で秋の岡山県大会に優勝 し、徳山市での中国地区大会出場、翌 26年6月の県8校選抜で優勝しなが ら第33回大会東中国大会決勝戦で、 のちにプロ野球で活躍した秋山-土井

のバッテリーの岡山東に敗れました。

昨年夏の県予選では、シード校の岡山城東を相手に岡本投手が39年ぶりのノーヒットノーランを達成し、3回戦では玉野光南に1対0で惜敗。本年夏も、岸野-山崎のバッテリーを中心に健闘して岡山操山を破り、2回戦では今夏準優勝の玉野光南相手に延長10回裏、1対0のサヨナラ負けをしましたが、よく頑張っており、卒業生として嬉しい限りであります。

恒例の総会懇親会、岡山でのゴルフ 大会、東京での京浜同窓会、同期会等 へご参加頂き、同窓の絆を深めていた だきたいと願っております。